

リリース

「全国の教会・施設から」(23)



■日本福音ルーテル
雪ヶ谷教会

田島靖則
(日本福音ルーテル田園調布
教会・雪ヶ谷教会牧師)

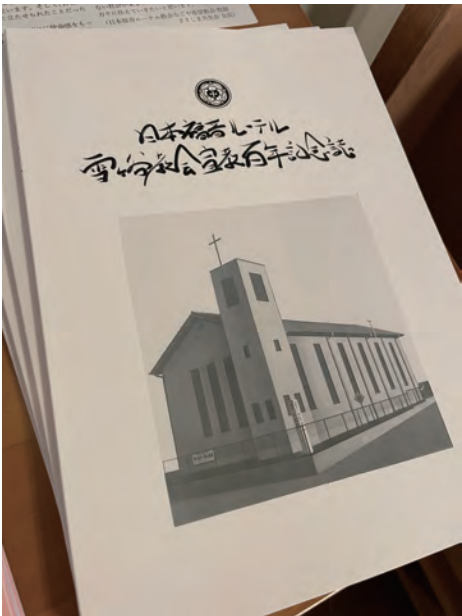
「雪ヶ谷教会宣教百年を
迎えて」

雪ヶ谷教会は2024年に創立百年の年を迎えました。特に当初から「宣教百年記念誌」の編集には困難が予想されました。荏原教会時代、五反田教会時代を知る信徒さんの数は限られており、その証言を得るためには早くから寄稿文の執筆依頼を行う必要がありました。しかし最大の困難は、コロナ禍を経験したこの小さな教会には、もはや記念誌編集委員を任命する余裕は残っていなかったことです。役員会の構成メンバーの大半は付属幼稚園

職員であり、これ以上の教会奉仕をお願いすることははばかられました。そこで、今回の百年記念誌は牧師が一人で編集にあたることとなりました。結果、この百年のあいだ教会に関わってくださった方の中で数人の方の名前表記の誤植が発生してしまっ

たことを、おわび申し上げます。なぜこの小さな教会が百年の間、宣教を続けることが出来たのか？この疑問は、百年記念誌をお読みいただければ一定の答えが得られるものと思われ

ます。雪ヶ谷教会はここに至るまでの間、公式非公式に何度も教会会堂や教会閉鎖のオフアを受けてきた教会です。終戦の年(1945年)の5月の空襲で荏原教会が焼失した後、最初の教会合同の話



が出たと聞きます。その頃の日本のルーテル教会はまだ組織合同が進んでいなかったため、「旧〇〇系」といった具合に元の宣教団体の違いから「同じルーテル教会」と言う意識は形成されていなかったよう

です。そのため「うちの教会は米国のドイツ系ルーテルの流れだから…」といった理由で合同を断つて、スワイワルト宣教師と連合国軍最高司令官総司令部(GHQ)の助けを得て、五反田教会として再建されたという経緯があります。その後も、ルーテル教会密集地である大田区への移転の後、教会合併提案や教会閉鎖の打診があつたと聞いていま

す。至近距離にルーテル教会が三つも集中していることの理由は、記念誌の私の寄稿文をお読みいただければご理解いただけると思います。断言できるのは、「神の助けなしには、雪ヶ谷教会の百年の歩みはなかった」ということ

だけです。愛光幼稚園 下田幸子 (愛光幼稚園園長)

本園は、社会福祉法人慈愛園が運営する日施設の中の二つとして熊本市の中心部にあり、近くに高

校や大学が点在する文教地区に位置しています。

創立者であるアメリカの宣教師モード・パウラス先生は、「散らされた人々を集め、ひとりも失われないようにする」という信念のもと、第二次世界大戦敗戦後の日本人の

困窮を救援する事業の一つとして、1948年(昭和23年)にひかり幼稚園を開園しました。その2年後にひかり幼稚園第二保育所を開園し、後に第二保育所は愛光幼稚園に園名が変更されました。

初代園長の吉崎モトエ先生をはじめとして、パウラス先生と想いを同じくした歴代園長の尽力により、現在創立77年目を迎えています。

開園当初は定員60名で出発しましたが、入園希望者数の増加や1971年(昭和46年)、2013年(平成25年)の園舎改築を経て、現在は定員90名の保育園として歩んでいます。

本園の特徴として、地域に在住する子どもたちの入園が多く、地域に根差した保育園であることがあります。また校区の社会福祉協議会と密に連携をとり、校区在住の高齢者



改 宣 教 宣 室

小泉基
(日本福音ルーテル札幌
教会牧師・宣教室長)

菅由美子
(一般社団法人 Namine &
Humus Japan 代表理事)

小泉 おひさしぶりです。菅さんとは2016年の熊本地震の被災地支援で一緒にして以来、地震・豪雨の被災地支援にかかわっておられるのですね。

菅 はい、西日本豪雨の被災地支援にかかわった後、佐渡で障がい者支援の働きをしていました。能登の状況が劣悪だと聞いて放っておけないという思いで飛び込んだのです。

小泉 わたしも今回、一緒に見て回らせてもら

いました。特に町野町の集落など、地震の後に豪雨災害にも見舞われて、いまだにこんな状況なのかと痛々しさを感じました。能登の現状をどう見ておられますか？
菅 ひとこと言うなら「見捨てられ感」ですね。被害の大きな奥能登



は交通の便も悪いですし、財務省財政審議会も「過疎の能登に」お金をかけても仕方がない」というようなことを平気で言います。また発災当初の混乱した状況が大きいアナウンスされたこともあつて、キリスト教関係を含めて、ボランティアさんたちのかかわりが遅れ、かなり限定されてしまったことも影響していると思います。

小泉 そうですか。これからはどんな支援が必要になるのでしょうか？
菅 昨年9月の豪雨災害もあつて、ボランティアさんの働きは、発災から1年が過ぎた今年の2月の段階でも、泥かきや家財運搬などのワーク系と、仮設住宅等でのコミュニティ支援系が、まだ半々くらいです。わたしは、町野町集落のお医者さんが取り組んでおられる能登の山林の丸太を使ったログハウスづくりを中心としたコミュニティ・再建の取り組みに力を注いでいます。行政が

動いてくれない中で、被災者さんたちが自力で集落の再建を切り開こうとしているこうした取り組みを、応援していきたいです。

小泉 最後に、菅さんのキリスト教とのかかわり、それから愛唱聖句を教えていただけますか？
菅 両親ともクリスチャンではなかったのですが、父の仕事で軽井沢に住んでいたときに近くの教会の教会学校に通うようになったのが最初です。14歳の時にその軽井沢の教会で洗礼を受けました。今も軽井沢中央教会の教会員です。愛唱聖句は『求めよ、さらば与えられん』(マタイ7:7「文語訳聖書」)です。
小泉 ありがとうございます。ございました。ともに支えあつてあゆめる社会を求めていきましょ



▲菅氏が活動する団体のホームページ。ブログで能登半島地震・豪雨被災地支援の様子が見られます。

世界の教会の声

浅野直樹 Sr.
（日本福音ルーテル市ヶ谷教会牧師
世界宣教主事）

宗教間の関係における
信頼と尊敬の構築
―ブンミ・ヤルボン監督
インタビュー―
（タイルーテル教会）②

―ルター派の信仰へ人々は
どのように導かれましたか。

ヤルボン 仏教にも良い
教えがたくさんあります。
かつて問題を起した人が
回心して人格者になったり
すると、タイではそういう
人は尊敬を集めます。私の
家族が絆を取り戻し、幸せ
に暮らしているのをみて、親
戚もキリスト教に関心を
もったのです。

生前に善行を積み極
楽へ行けるというのが仏教
の教えです。それが恵みの賜
物という教えはなかなか通
じません。しかしながら私
に起こった人生の大きな変
化や家族の幸せを知って
周囲の人々も福音に興味
を示すようになったのです。

―タイ福音ルーテル教会に
ついて教えてください。

ヤルボン タイ福音ルー
テル教会は5教区に分かれ
ていて教会数は全部で28、
職員は全部で23人、そのう
ち16人が牧師です。女性も

います。信徒数は3千7百
名です。

私たちのビジョンは、神の

恵みによって人々が公正と
希望と幸いを得ることです。
聖書に根差していてな

おかつ実社会でも生かせる
正義の実現を目指していま
す。貧しい人たち、抑圧され
た人たち、追いやられた人
たちを守るのが聖書の

教えです。ですから教育支
援や医療援助、住まいの支
援といったプロジェクトを
通じて、人権と社会におけ

る平等を訴えています。ま
たジェンダーによる差別や
暴力反対キャンペーン、イン
クルーシブな社会の実現に
取り組んでいます。また、バ

ブルスクールを運営してい
ます。女性と青年向けのプ
ログラムに力をいれている
ところ です。

―エキュメニカルなつなが
りがありますか？

ヤルボン タイにある他

教派、たとえばカトリック、
ペンテコステ、メソジストと
いったところとしっかりつ
ながっています。時には一緒
に礼拝をしたり、神学的な

話し合いをしたり、人権と
正義や気候変動といった其
他の社会問題に一緒に取り
組んでいます。

―20人から100人への成
長はどうやって達成しま
したか？

ヤルボン 子どもたちへ

アメリカ福音ルーテル教会主催第12回 アジア・ルーテル国際会議（ALIC）報告

李明生事務局長
（日本福音ルーテル
むさしの教会牧師）

2025年1月14日〜
21日、マレーシア・コタキナ
バルにて、アメリカ福音
ルーテル教会（ELCA）

主催第12回アジア・ルーテ
ル国際会議（略称ALIC）
が開催されました。EL
CAのアジアにおける
パートナー教会より40人、
ELCAの北米における
アジア宣教に携わっている
60人、総勢約100人によ
るプログラムでした。日

のアプローチが大きいと思
います。近所の子どもたちか
らやがて家族へと広がってい
きました。コミュニティと
の関わりを大切に、人々を
尊敬し心が通い合う関係
作り心がけています。

年長者への尊敬の念がタ
イでは重要です。本家の家
族でなくても、村の年長者
を自分の祖父母や伯父叔
母のように接することが大
切です。そうすることで家
族のように扱ってくれるの
で、そこから教会のことも
わかっていく、クリスチャ
ンは伝統的な価値観を大
切にする人たちなのだと思
解してくれそうです。信仰を分
かち合うには信頼関係を
築くことです。

本福音ルーテル教会から
は、私の他に下山正人さん
（市ヶ谷教会信徒）が青年
枠として参加、安田真由
子さん（都南教会信徒）が
ELCAのスタッフとして
参加されました。

この会議は1999年
香港での第1回の後、コロ
ナ禍の休止を除いて、おほ
むね2年に一度、アジア各
国で開催されてきました。
元々このプログラムは、北
米在住のアジア出身者へ
の宣教をELCAが展開
するため、アジアのパート
ナー教会との協力関係を
強めることを目的として
始められました。その後、
北米においてだけでなく、
ELCAがアジア各地で
パートナー教会との協力
で展開している宣教を、参
加者が相互に共有し、神
学的考察を深めつつアジ
アの諸教会のネットワー
クを広げていくことが目
指されるようになってい
ます。今回は「The Every
Voice」（全ての声をあげ



サバ神学院前

よう）をテーマに、世界の
中の小さな声をどのよう
に聞き取り、分かち合っ
ていくかが話し合われまし
た。参加者には今後日本
福音ルーテル教会が進め
ようとしているカンボジア
宣教のパートナーとなる
カンボジアルーテル教会か
らも多く、良き出会いを
与えられました。またEL
CAサウスイーストシフツ
ドから参加のケヴィン監
督は、「ご自身が子ども
頃、教会で催されたリビン
グストン宣教師の東京で
の働きの報告に感銘を受
けて牧師を志したのだ、と
いう思い出を語ってくだ
さいました。

開催地となったマレーシ
ア・コタキナバルは、サバ神
学院のある都市でもあり
ます。プログラムの中でサ
バ神学院訪問も行われま
した。サバ神学院のThea
バ校長からは、日本福音
ルーテル教会女性会連盟
からの長年にわたる支援
への深い感謝の言葉を頂
きました。

開催地となったマレーシ
ア・コタキナバルは、サバ神
学院のある都市でもあり
ます。プログラムの中でサ
バ神学院訪問も行われま
した。サバ神学院のThea
バ校長からは、日本福音
ルーテル教会女性会連盟
からの長年にわたる支援
への深い感謝の言葉を頂
きました。

下川正人
（日本福音ルーテル市ヶ谷
教会信徒・公益財団法人
JELCA職員）

ルーテル教会に関係す
る国際会議に参加するの
は今回が2回目でした。1
回目は2015年にドイ
ツで参加したルーテル世

界連盟（LWF）主催の青
年会議で、南極以外の全
ての大陸から参加者が集ま
りました。今回の会議はア
メリカ福音ルーテル教会
（ELCA）が主催という
違いもありますが、アジア
地域にフォーカスした集
まりは非常にユニークで
新鮮な体験でした。

アジアというのは、よく
考えると不思議な概念で
す。当会議で講演したイン
ド出身の神学者フジヤシェ
カー博士の言葉を借りれ
ば、アジアの人々は普段の
生活の中で自分たちを「ア
ジア人だ」と思うことはな
いのです。私が日本で暮ら
す中で日本人であること
を意識することはたまに
あつても、アジアという広
がりまで感じることはほ
んどありません。しかし
アジアの国々は間違いな
く少なからぬ歴史を共有
しているのです。そして、そ
こにはもちろん喜ばしい
側面も、不幸な側面もあ
ります。さまざまな背景
を持つ「アジア人」たちが一
堂に会し話し合うとき、
近いようで遠い、遠いよう
で近い、不思議な歴史のつ
ながりを体感します。その
ような交わりを、ルーテル
教会という特異な接点に
よって持てたことは大変
貴重な機会でした。

印象に残ったディスカッ
ションがあります。各国の
教会の課題を分かち合う

時間がありません。私は
日本の大きな課題として
少子化社会による若年層
の減少に触れました。地域
限定過ぎて広がりにくい
話題かと思いましたが、イ
ンドネシアの教会も若者
の参加が少なく、苦勞し
ているという発言があり
ました。若者はSNSや
動画サービスに夢中で教
会に関心がない、このこ
と。ハッとさせられる視点
でした。日本の若者もスマ
ホに多くの時間を費やし
ていることは、インドネシ
アと変わらないのです。人
口統計という変えがたい
現実を嘆くだけでなく、
少ないが確かに存在する
若者に対して教会は十分
な働きかけができていろ
か？国際会議だからこそ
得られた気づきでした。

安田真由子
（日本福音ルーテル都南
教会信徒・ELCAアジア
太平洋デスクジェンダー
正義コーディネーター）

アジアにおけるジェンダー
正義
昨夏、アジア・ルーテル
国際会議（ALIC）で
ジェンダー正義について話
してほしいと依頼を受け
た時、私は光栄に感じる
とともに、戸惑いもしまし
た。アジアにおけるジェン
ダーの問題は多様だから
です。たとえば、アジアの

時間があります。私は
日本の大きな課題として
少子化社会による若年層
の減少に触れました。地域
限定過ぎて広がりにくい
話題かと思いましたが、イ
ンドネシアの教会も若者
の参加が少なく、苦勞し
ているという発言があり
ました。若者はSNSや
動画サービスに夢中で教
会に関心がない、このこ
と。ハッとさせられる視点
でした。日本の若者もスマ
ホに多くの時間を費やし
ていることは、インドネシ
アと変わらないのです。人
口統計という変えがたい
現実を嘆くだけでなく、
少ないが確かに存在する
若者に対して教会は十分
な働きかけができていろ
か？国際会議だからこそ
得られた気づきでした。



アジア各国のルーテル教会の方とのディスカッション

ルーテル教会の中には女
性牧師を認めない教会も
あります。インドの教会で
は、宣教の働きを担うト
ランスジェンダー女性が
いる。万、トランスジェン
ダーの人たちが迫害される
国もあります。同性愛者な
どの性的マイノリティー
を取り巻く状況が少しず
つ改善されているような
国においても、教会では差
別が根を張っている現状
があります。そして、AL
ICの開催地マレーシア
は、性的マイノリティーに
不寛容で男女格差も大き
な国です。そこにアジア諸
国と米国の参加者が
集まる国際会議で、私に
何が話せるだろうか、と、
いぶん悩みました。けれど
も、そういう状況だからこ
そ、ジェンダー正義とは、
神様の愛と平和と正義に
満ちた世界を目指す取り
組みであることを伝える
ことが必要だと信じ、基

調講演の役目を引き受けることにしたのです。

講演の詳しい内容については割愛しますが、関心のある方は、ご二報くだされば共有します。講演後にはさまざまな反応をいただきました。うれしい言葉も、あからさまな反発も。特に印象的だったのは、男性牧師から「ジェンダー平等はもう達成されているのに、あなたがこんなふうには女性は抑圧されている」と言つと、かえつて女性たちを不快にさせると思うし、性差別については話さない方がいい」と言われたことです。今もジェンダー格差が存在することとはデータや数字によっても示されているのに、のんきなことを言う人がいたのです。

しかし、これが性差別の現実。女性や性的マイノリティーへの差別・抑圧は、家長制の下で権力がその力を保持するには不可欠なものですし、だからこそ、力ある立場にいる人（主に男性）は無意識のうちに差別を温存してしまっています。ジェンダー正義の実現はまだまだ遠いですが、ALICでは、志を共にする人たちとの出会いもありました。一人では難しい道も、仲間たちと神様と一緒に歩んでいけることに感謝です。

第30期第7回常議員会報告

李明生事務局長
(日本福音ルーテルむさしの教会牧師)

2月17日、日本福音

ルーテル教会常議員会がオンライン(Zoom)によつて開催されました。以下、主な事項について報告いたします。

2025年度教職人事の件

人事委員会提案の2025年度教職人事が承認されました。新たに任用された1人と嘱託から一般へ任用変更された1人の紹介がなされました。

2024年度補正予算・決算報告の件

表記の件について説明が行われ、承認されました。協力金は2024年度より10%へ戻されましたが、協力金収入はコロナ禍前の8割程度となっています。他方、オンラインを活用した会議費の節減や事務局教職の兼任体制を継続する等によつて、2024年度も公益会計(予算会計)は収益会計からの繰入無しでの決算とすることができました。収益会計は

比較的堅調に推移、教会年金等の基金会計を支えるとともに補修工事等を実施することができました。

2025年実行予算2026〜2027年度当初予算の件

荒井財務担当常議員より表記の件が提案され、承認されました。引き続き経費節減対策を継続するとともに、次世代育成等の再開しつつある諸活動への支出を確保することが確認されました。

教職養成の今後の件

神学教育委員会では、教職養成におけるもろもろの課題を確認し、特に実践分野での訓練を教会として担うため、座学としての神学教育を3年間に圧縮し、教会の現場での十分な実践訓練期間を確保することを検討していることが報告されました。またこれに伴い、日本ルーテル神学校においてもカリキュラムの見直しが進められていることが報告されました。常議員会はこの方針を承認し、今後より具体的な検討を進めること、

またこの件については、第31回定期総会において議案として取り扱うことを確認しました。

第31回定期総会の件

第31回定期総会の議事日程案・諸委員案他について承認されました。主な議案として、教会規則改正(第52条の一部削除、第75条の2の2内規2の削除)、教職養成の今後、教職育兒介護休業規定について取り扱うことが承認されました。

次回常議員会日程の件

次回常議員会は、定期総会前に4月14日、オンラインでの開催が承認されました。なお第31総会后第1回常議員会は6月9日〜10日にオンラインで開催の予定です。

その他の報告・議事等の詳細につきましては、各教会へ配信されました常議員会議事録にてご確認ください。

2025年度日本福音ルーテル教会人事

第30期第7回常議員会において以下の通り人事が承認されましたのでご報告いたします。

【西教区】
加納寛之
三原教会(兼任)
立野泰博
西条教会(兼任)
西川昂子
下関教会(主任)
宇部教会(兼任)
厚狭教会(兼任)

【九州教区】

箱崎教会(主任)
聖ペテロ教会(兼任)
大和友子
久留米教会(主任)
田主丸教会(兼任)
二日市教会(兼任)
和田憲明
室園教会(主任)
九州ルーテル学院(兼任)
池谷考史
大牟田教会(兼任)
九州教区常議員
阿久根教会(兼任)

【新任】

大和友子

【人事異動】

(2025年4月1日付)

【北海道特別教区】

該当なし

【東教区】

宮澤真理子
市川教会(主任)
内藤新吾
小岩教会(主任)
稔台教会(兼任)
坂本千歳
保谷教会(主任)
中島共生
都南教会(主任)

【東海教区】

該当なし



黄大衛

長崎教会

Dr. Andrew Wilson

中島康文

荒尾教会

大牟田教会

ルーテル学院大学

日本ルーテル神学校人事

日本ルーテル神学校

校長退任

(2024年9月30日付)

立山忠浩

日本ルーテル神学校

校長就任

(2024年10月4日付)

宮本新



公告

この度左記の行為を致しますので、宗教法人法第23条の規定に基づき公告致します。

2025年4月15日

宗教法人日本福音

ルーテル教会

代表役員 永吉秀人

信徒利害関係人 各位

唐津教会牧師館解体

所在地 唐津市坊主町

464番地4

所有者

日本福音ルーテル教会

種類 牧師館

構造 木造2階建て

床面積

1階) 83.35㎡

2階) 37.95㎡

理由 老朽化のため